



6月末には上田地域の梅雨が明け、統計がある1951年以降、最も早い梅雨明けとなったというニュースもありました。中体連東信大会が終わり、大変暑い日が続いていた時期もありますが、期末テスト、宿泊学習などに向けて、生徒たちは暑さに負けず一生懸命に取り組んでいます。今号では、その様子をお伝えします。

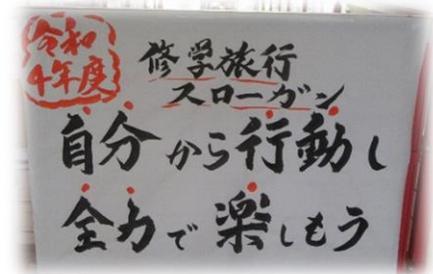
宿泊学習（1・3年）キャリア学習（2年）に向けて

7月は、1学年は乗鞍登山と上高地ウオークラリーの1泊2日の学習、3学年は奈良・京都への2泊3日の修学旅行をそれぞれ予定しています。

1学年の登山スローガンは「のりくらだけ の：上り下り安全に り：臨機応変に くら：クラス・学年助け合う だ：誰でもあいさつ け：けじめをつけよう」です。1年生からは「私は統率係になったので、みんなをまとめられるように頑張りたい。班の仲間と協力してよい登山をしたい」「友だちと仲よく協力して楽しみたい。係も自分の仕事に責任をもって頑張りたい。」等の声が聞かれます。



3学年の修学旅行のスローガンは、「自分から行動し全力で楽しもう」です。このスローガンのもとで、3年生は、「集団で動く」ということも意識しています。集団で動くためには、時間を守ること、時間で行動ができるようにすることを大切にしています。時間を守ることを自分から行動する、そんな姿が見られます。係会も行っていますが、「学習係は資料作りを始めている。二条城の担当になったので、大政奉還などの歴史について、わかりやすくまとめたい。」等の声が聞かれます。



2学年は、コロナ禍により職場体験学習ができないため、ジョブカフェ信州より白石真樹さんをお招きし、キャリア学習出前講座の時間を設けました。白石さんは、2年生に「キャリア学習講演会は何のための時間だろうか」と問いかけながら、「価値を知る」「職場を知る」「職業を知る」「生き方を知る」この4つであると話していました。この4つを引き出すために、大事なのは挨拶の仕方や話の聞き方であることだと伝えながら、生徒も実際にお辞儀



の仕方を学びました。12日(火)のキャリア学習講演会に向けて、「挨拶なんて別にいいんだよではなく、はきはきと大きな声で挨拶すると、相手も自分もいい気持ちになる。」と感じた生徒たちでした。

自己の生活を調整していく力の育成を目指して ～質問タイム・自学の時間～

本校では、生徒が自分の学びや生活を振り返り、自己の生活を調整していく力の育成を目指しています。この「自己の生活を調整していく力」とは、学力の一つである「学びに向かう力」につながるものです。6月30日（木）と7月1日（金）の期末テストの日の1校時に、自分の必要なことを見極め、挑戦する場の一つとして、「質問タイム」や「自学の時間」を設定しました。

二日間の「自学の時間」では、生徒は、自分で立てた計画でテスト勉強をしていました。その中で、待機している教科の職員に質問をしている生徒の姿も見られました。

テスト勉強について、生徒から話を聞くと、「テスト勉強が計画通りにできなかった」という声が多く聞かれました。その分、質問タイムや自学の時間は、生徒たちにとっては、最後の確認ができる貴重な時間だったようです。「自己の生活を調整していく」ことは、意外にも難しいことなのかもしれません。本校では、毎日の中タイムにより、「自己の生活を調整していく力」を育てています。



個人情報管理の徹底 ～職員の非違行為防止研修～

職員研修の一つとして、非違行為防止研修を行っています。6月末の研修では、島田PTA会長さんをお招きし、「個人情報の紛失を防ぐ」をテーマに、実際の事例を基に皆で考え、話し合いました。6月末から7月にかけては、特に期末テストや成績処理、通知表の作成等があるため、改めて「個人情報管理」について考えました。

個人情報を紛失してしまう原因として、「このくらいは大丈夫だろう」という安易な気持ちがある」「USBメモリにテスト結果を保存し持ち出すという危機管理意識の低さがある」「職場で仕事を終わることができない多忙さがある」などが出されました。個人情報の紛失を防ぐために、個人としては「USBメモリの扱い方の徹底（持ち出し許可・パスワードでロックなど）」「USBメモリに個人情報を入れない」「学校から家まで寄り道をしない」などが話し合われました。また、学校としては「一人の仕事負担が多くならないように支え合いフォローする」「業務の精選をはかる」などが話し合われました。

島田PTA会長さんからは、「忙しいときにどうするかを考えたい。ダブルチェックやトリプルチェックをしていくことが大切である。」「有事のときに、この研修を思い出すことができるか。」「研修を継続することを大切にしたい。」等のお話をいただきました。

職員研修は、長期休業中や職員会議等でも行っています。様々なテーマで研修を重ねてまいります。

